



たかはし浩司 町政活動報告



第15号

令和8年2月

発行者/たかはし浩司後援会 〒515-0317 多気郡明和町大字池村1011番地
TEL0596-52-7707 FAX0596-52-6930 <https://www.kouzi-takahashi.com> takahashi@cks-fss.jp

たかはし浩司
ホームページ



Facebook



Instagram



後援会
ご入会申込



立春の候、まだ寒い日が続きますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。平素より、たかはし浩司の活動に対し、温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博の開催や、女性初の首相となつた高市総理大臣の誕生など、社会や政治の面で印象的な出来事があり、三重県においては9月の知事選で「見知事」が再選され、2期目の県政運営が進められています。

明和町においては、明和北小学校とささふえこども園の整備が完了し、今年4月の開校・開園に向けて期待が高まっています。また、役場窓口業務については、受付時間の見直しが行われました。

令和8年は、物価高などで暮らしや事業の負担が増え、これまでのやり方のままでは難しい場面が増えてきました。

こうした中、町政には、住民の声をよく聞きながら、必要なことを着実に決めて進める姿勢が求められています。

たかはし浩司は、地域の皆さまの声を伺い、町政に反映できるよう取り組んでいます。いただいた声をつひとつ町に届け、形にできるように、これからも活動を重ねてまいります。

今後とも、温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

たかはし浩司後援会
会長 渡邊 裕

● 令和7年9月の委員会・全員協議会では・・・ ●

○明和北小学校の竣工と運営について

明和北小学校は、令和8年2月8日に竣工式と内覧会が行われる予定です。4月の開校に向けて準備が進められており、4月から新たな学校生活が始まります。あわせて、スクールバス運行ではアプリの活用も始まります。保護者の安心につながるとともに、誰もが利用しやすい仕組みとするため、丁寧な説明を行うこと、また保護者の声を受けて柔軟に改善を進めることを要望しました。



○小学校等の跡地の利活用について(全員協議会)

統廃合される小学校の校舎などの跡地の利活用について、町からの旧修正小学校や旧双葉幼稚園の進捗報告を受け、地域の活性化や公共的活用につながる将来を見据え、地元自治会を含めた近隣住民や事業者にも丁寧な説明を行うよう要望しました。

● 決算(6年度)を審議する決算特別委員会では・・・ ●

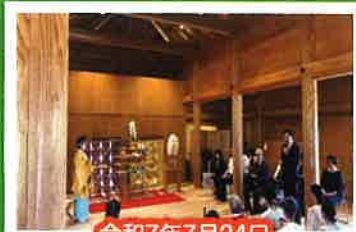
- 全国で老朽化が進む防火戸などの事故を踏まえ、町内の全公共施設・設備について、計画的な点検および修繕を実施することを求めました。



- 昨今の物価高騰や米価上昇を踏まえ、学校給食について「安かろう・悪かろう」ではなく、新鮮でおいしく、栄養のある安心・安全な給食を安定的に提供するため、施設整備も含めた今後の方針を示すよう要望しました。

- 役場職員の早期退職が相次ぐ中で、将来を見据えた行政運営の安定化を図るため、民間委託の導入や職員配置の最適化について町の具体的な対策を要望し、令和8年1月に新たに職員の採用試験が実施されました。

- 国の「海業振興モデル地区」に町が選定されたことを踏まえ、町と地元が連携した海の肥料活用や海底耕うん等の推進と、将来の漁業と漁港の活性化を求めました。また令和7年12月には地元漁師さん達を中心となって下御糸漁港で「年末とれたて漁師市」が開催されました。



令和7年7月24日
天津管麻 刈取神事



令和7年7月25日・26日
大淀祇園祭・花火大会
(広報めいわより)



令和7年9月14日
日本遺産認定十周年記念
シンポジウム



令和7年10月5日
いつきのみや観月会



● 令和7年12月の委員会・全員協議会では・・・ ●



○防犯灯未設置箇所の解消と安全対策について

町内では昨年、死亡事故も発生しており、地域住民から不安の声が上がっています。こうした状況を踏まえ、地域の安全・安心な暮らしを守るため、防犯灯が未設置で、特に見通しの悪い箇所については早急な整備が必要であると強く要望しました。その結果、町長からは、防犯灯の整備を含めた安全対策の強化を進めていくとの回答が示されました。



○太陽光発電施設の設置のガイドラインについて

以前から町に要望していた太陽光発電施設の設置・管理に関するガイドラインについて、県のガイドライン改定を受け、明和町としても策定を進めるとの説明がありました。これに対し、町民の声を丁寧に受け止めて対応するとともに、蓄電池設備の動向についても注意深く把握していくよう要望しました。



● 議会改革特別委員会では・・・ ●

議会改革特別委員会では、「議会議員定数等の在り方調査会」から提出された報告書を踏まえ、議員定数の見直しについて協議を重ねました。その結果、議員定数を現行の14名から12名に削減することを決定しました。これは、議会の機能を維持しつつ、意思決定の迅速化と議員一人ひとりの責任の明確化を図るためです。今後も、町民にとって分かりやすく、信頼される議会運営に努めてまいります。※「議会議員定数等の在り方調査会」は、議員定数等を検討するために設置され、学識経験者2名を含む7名で構成されました。

● 令和7年12月の定例会で「命の尊さを守る明和町の実現」について、一般質問を行いました。

①町民と町内で働く人たちが「自ら命を絶つ(自死)」ことがないようにするための行政の認識と責務について質問を行いました。

【町長答弁】自死は単に個人の問題ではなく、背景に様々な困難や苦しみ積み重なった末に起きる出来事とされている。本人のみならず家族や地域にとっても深い悲しみと大きな影響をもたらす、本来であれば防ぐことができたかもしれないものであり、極めて重く受け止めるべき問題と認識している。町では「明和町自殺対策計画」を策定し、「ともにあゆみ いのちを支え合うまち 明和」を基本理念とし、すべての町民が孤立することなく支えあいながら安心して暮らせる地域社会を実現するため、相談支援の充実、周知・啓発、関係機関との連携など施策の強化を図っている。

②明和町役場でのハラスメントの実態と、対策・予防・啓発等について質問を行いました。

【総務課長答弁】職員研修の実施や、相談窓口の周知、ハラスメントの定義や判断基準の共有など職場環境改善に向けた取組を進めてきた。また、令和5年4月に「明和町ハラスメント防止要綱」を新たに作成し、相談体制の周知をはかるなど対策を進めている。

③過去の職員の自死事案について、原因の検証と、町長や衛生委員会の長としての命の重みに対する責任、そして組織としての説明責任を問いました。あわせて、匿名・外部の相談窓口の整備など、再発防止への体制づくりを求めました。

【町長答弁】職員が自ら命を絶つ極めて痛ましい出来事が起きたことは、深い悲しみと大きな責任を感じざるを得ない極めて深刻な重い出来事である。この出来事を二度と繰り返すことのないよう、再発防止の取組や職員のメンタルヘルス支援体制の強化に引き続き努める。ただし、事案の詳細については、個人情報やご遺族の感情を考慮し、回答は差し控える。



令和7年10月13日
TAME池フェスティバル



令和7年11月1日・2日
町民文化祭



令和7年12月20日・21日
自動運転「RoboBus」観光実証



令和7年12月26日
明和町からプロの世界へ